



2015年度 決算説明会

三菱自動車工業株式会社
2016年4月27日

当社製車両の燃費試験における不正行為について

当社が国土交通省へ提出した燃費試験データについて、不正な操作が行われていたことが判明しました。

お客様をはじめ関係する皆様に、多大なるご迷惑をお掛けしますこと、心よりお詫び申し上げます。

まず、「当社製車両の燃費試験における不正行為」につきまして、お客様をはじめ関係する皆様に、多大なるご迷惑をお掛けしておりますこと、心より深くお詫び申し上げます。

客観的で徹底的な調査を行うため、独立性のある外部有識者のみによる調査のための委員会を設置いたしました。この調査結果はまとも次第、公表させていただく予定です。

2015年度 業績サマリー【前年度対比、前回予想対比】



(単位: 億円)

	FY14 (' 14/4-' 15/3)	FY15 (' 15/4-' 16/3)	増減		2/3 公表値	増減	
	実績	実績	差異	率		差異	率
売上高	21,807	22,678	+871	+4%	22,600	+78	0%
営業利益 (利益率)	1,359 (6.2%)	1,384 (6.1%)	+25	+2%	1,250 (5.5%)	+134	+11%
経常利益 (利益率)	1,516 (7.0%)	1,410 (6.2%)	-106	-7%	1,300 (5.8%)	+110	+8%
当期利益 [※] (利益率)	1,182 (5.4%)	<u>726</u> (3.2%)	<u>-456</u>	<u>-39%</u>	1,000 (4.4%)	<u>-274</u>	<u>-27%</u>

※親会社株主に帰属する当期純利益

米国生産終了に伴う特別損失 191億円
燃費試験関連損失 191億円
を計上

2

最初に、2015年度の業績の概況をご説明いたします。

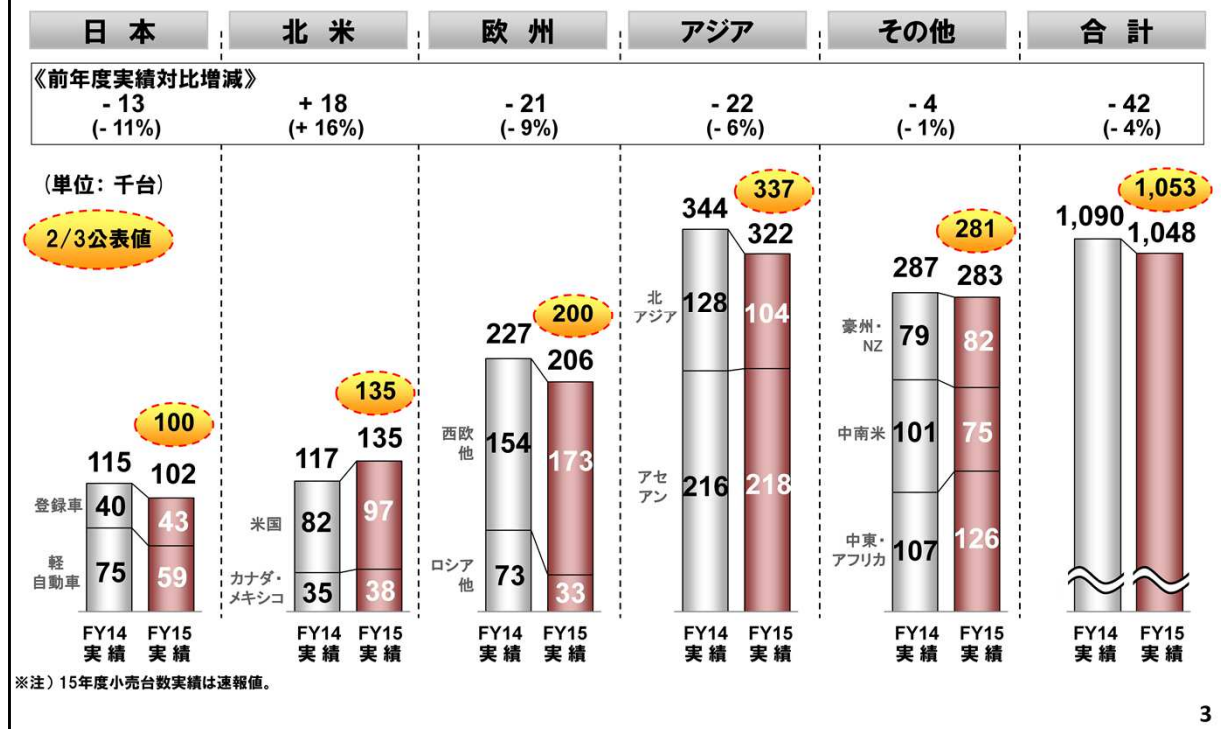
太枠の中が 2015年度の実績です。

売上高は 2兆 2,678億円となりました。

営業利益、経常利益および当期利益についてはそれぞれ 1,384億円、1,410億円、726億円となりました。

なお、当期利益には、米国生産終了に伴う特別損失として191億円、燃費試験関連損失として191億円をそれぞれ計上しております。

2015年度 小売台数実績【前年度対比】



3

次に地域別の小売台数実績について前年度と比較してご説明致します。全地域合計では、104万8千台となり、前年比でマイナス4万2千台、4%の減少となりました。

まず、日本では登録車は増えたものの、軽自動車で減少し、10万2千台と前年比でマイナス1万3千台、11%の減少となりました。

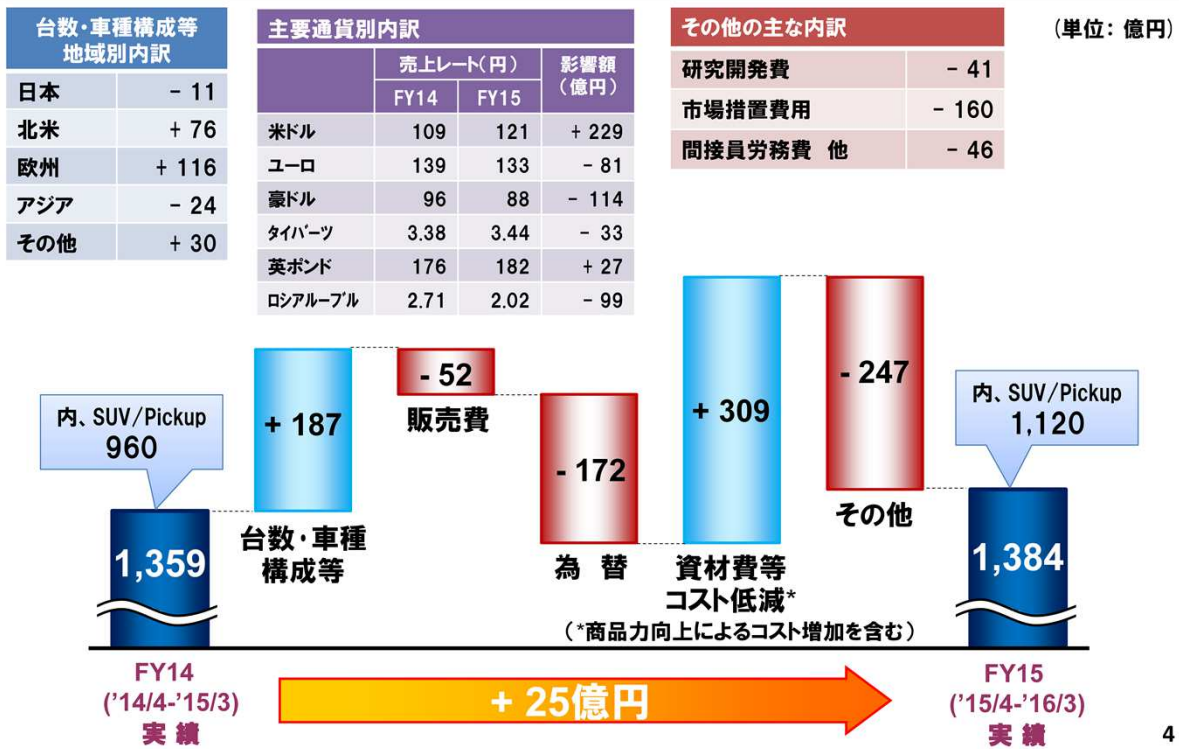
北米では、『アウトランダーや『アウトランダースポーツ』を中心に販売が増加したことなどにより、13万5千台と前年比でプラス1万8千台、16%の増加となりました。

欧州では、西欧で、ドイツやイギリスを中心に販売を伸ばし、17万3千台と、前年比でプラス1万9千台、11%の増加となりました。一方、ロシアは経済情勢の悪化と為替悪化に伴う値上げにより、販売台数が落ち込み、欧州全体では20万6千台と、前年比でマイナス2万1千台、9%の減少となりました。

次に、アジアですが、10月に発売した新型『パジェロスポーツ』の販売が増加したタイでは、前年を上回りましたが、中国やインドネシアで減少し、アジア全体では32万2千台と前年比でマイナス2万2千台、6%の減少となりました。

このように米国、西欧では台数が増加しましたが、日本、ロシア、中国で減少し、合計では104万8千台の販売となりました。なお、『アウトランダーPHEV』につきましては、グローバルで4万2千台の販売となり、前年比でプラス7千台の増加となりました。

営業利益増減分析【前年度対比】



次に、営業利益について、対前年での増減内訳をご説明いたします。

まず、台数・車種構成等による営業利益への影響については、全体の卸売台数が減少するものの、『アウトランダー』や『アウトランダーPHEV』、『パジェロスポーツ』などの台数増加により、SUV比率は14年度の51%から、15年度は53%に上昇したことにより、車種MIXが改善し、187億円の増益影響となりました。

資材費等コスト低減につきましては、309億円の改善となりました。その他では、市場措置費用が160億円増加したこと等により、その他合計で、247億円のマイナスとなりました。

このように、為替の悪化や市場措置費用の増加はありましたが、コスト低減努力によるプラス影響や台数車種構成等の改善により、25億円の増益となりました。

- ✓ 2016年度の業績見通しにつきましては、未定とさせていただきます
- ✓ 今後見通し開示が可能な状態となり次第、速やかに開示いたします

2016年度の業績見通しにつきましては、「当社製車両の燃費試験における不正行為について」の将来の影響等を慎重に見極めていることから未定とさせていただきます。

今後見通し開示が可能な状態となり次第、速やかに開示いたします。

Appendix

2015年度 業績サマリー 【四半期推移】



(単位: 億円、千台)

	FY15 1Q ('15/4-6)	FY15 2Q ('15/7-9)	FY15 3Q ('15/10-12)	FY15 4Q ('16/1-3)	FY15 通期 ('15/4-'16/3)
売上高	5,005	5,693	5,922	6,058	22,678
営業利益	186	398	436	364	1,384
経常利益	241	344	482	343	1,410
当期利益 [※]	240	281	246	- 41	726
販売台数(小売)	262	259	266	261	1,048
販売台数(卸売)	291	312	311	326	1,240
売上レート(円)					
米ドル	121	122	121	118	121
ユーロ	133	136	133	129	133
豪ドル	94	90	86	84	88
タイバーツ	3.68	3.49	3.41	3.26	3.44

※親会社株主に帰属する当期純利益

7

2015年度 地域別業績【前年度対比】



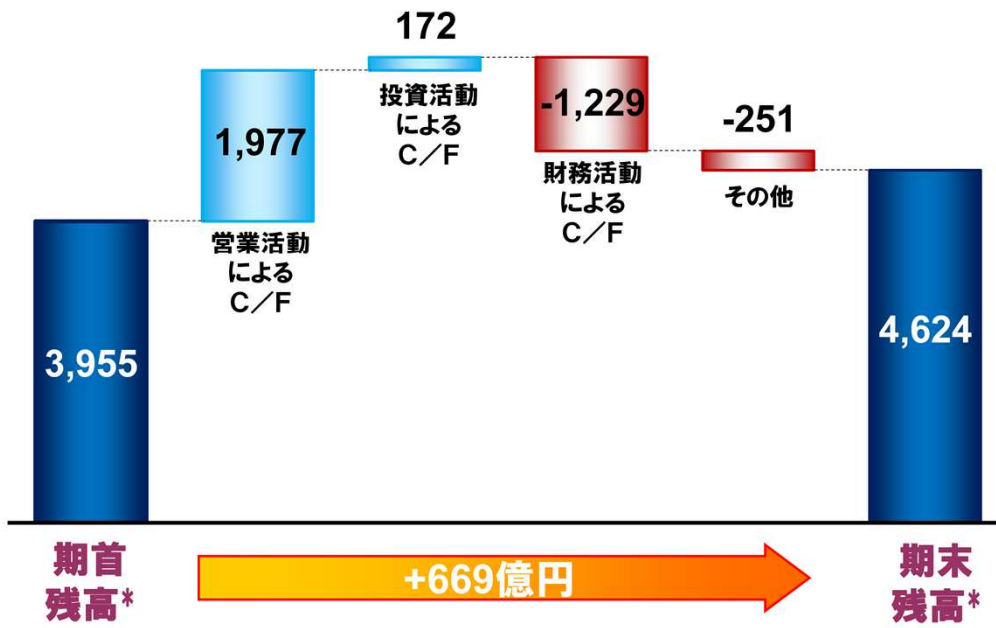
(単位: 億円)

	FY14 実績	FY15 実績	増減	【参考】 FY15計画 2/3公表値
売上高	21,807	22,678	+871	22,600
- 日本	4,453	4,129	- 324	4,200
- 北米	2,758	3,248	+490	3,400
- 欧州	5,144	5,146	+2	5,000
- アジア	4,245	4,826	+581	4,700
- その他	5,207	5,329	+122	5,300
営業利益	1,359	1,384	+25	1,250
- 日本	20	-24	- 44	0
- 北米	5	62	+57	120
- 欧州	391	221	- 170	190
- アジア	566	749	+183	660
- その他	377	376	- 1	280

キャッシュフロー



(単位: 億円)



*現金及び現金同等物(3ヶ月超えの定期預金を除く)

設備投資・減価償却費・研究開発費



(単位：億円)

	FY14 (' 14/4-' 15/3) 実績	FY15 (' 15/4-' 16/3) 実績
設備投資 (前年比)	680 (- 6%)	690 (+1%)
減価償却費 (前年比)	533 (+1%)	536 (+1%)
研究開発費 (前年比)	746 (+11%)	787 (+5%)

本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、本計画の各種目標・各種施策の実現可能性、金利・為替・原油価格の変動可能性、関係法令・規則の変更可能性、日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等があげられます。

なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご注意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。

Drive@earth



MITSUBISHI MOTORS